
三島市長定例記者会見資料
平成28年9月
月間行事予定



みしまジュニアスポーツアカデミー 第2期生募集

日時 平成28年8月25日(木)
午前10時30分～

場所 三島市役所 本館2階 応接室

市の取り組みの満足度1位は「せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり」
平成28年度「三島市市民意識調査」調査結果の特徴について

～将来の都市規模の1位は「伊豆地域を代表する都市」～

市民の皆さまの意見や要望を市政の参考とするため、市民意識調査を実施しました。

ここがポイント！

- 三島市の市民意識調査は、第4次三島市総合計画に対応し、「総合計画の指標」「市の取り組みの満足度」などの進捗状況や経年変化を把握できるよう調査を実施。
- 市の取り組みの満足度1位は「せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり」69.4%(平成27年度+8.5%)
- 「住環境」と「景観の美しさ」は、調査開始以降、最高の満足率となりました。
- 将来の都市規模の1位は「伊豆地域を代表する都市」36.1%(平成27年度は2位 +1.6%)
- 市民の幸福感は、年々向上しています。

1 調査方法

市民から単純無作為抽出した20歳以上の男女2,000人を対象として、郵送で調査。

有効回収数は1,184件、回収率は59.2%で、27年度より0.4%増加しました。

2 調査の内容

【継続調査】

- ・「居住環境」について
- ・「総合計画の指標に関する項目」について
- ・「幸福感」について
- ・「環境への取り組み」について
- ・「災害対策」について
- ・「市の取り組みの満足度」について
- ・「自治会・町内会」について
- ・「健康づくり」について
- ・「三島市広報活動」について

【新規調査】

- ・「男女共同参画」について(新規調査)
- ・「楽寿園」について(新規調査)
- ・「障がいのある人への理解」について(新規調査)
- ・「文化的環境」について(新規調査)
- ・「公共スポーツ施設」について(新規調査)

3 平成28年度の結果の特徴

特徴1 満足率は「居住環境」や「三島市への愛着率」が高くなっています。

(1)毎年高い満足率を得ているもの

三島の住みやすさや愛着度について、「住環境の満足率」89.3%(27年度88.2%)は、平成15年度の調査開始以降最高の満足率となりました。(満足率=「満足」+「やや満足」)

「三島市への愛着率」84.6%(27年度82.8%)も高率となっています。

愛着率(84.6%)=「非常に愛着を感じる(39.8%)」+「やや愛着を感じる(44.8%)」

(2)生活環境の満足率

「水のきれいさ」73.6%(前年度74.3%)、「空気のさわやかさ」69.7%(前年度70.8%)、「身近な緑や自

然の量」62.6%(前年度61.9%)が上位3項目となりました。なお、「景観(自然風景・まち並み)の美しさ」56.1%(前年度55.2%)は、平成19年度のこの項目の調査(42.6%)開始以降、最高の満足率となりました。

特徴2 将来の三島市像については、健康、福祉、環境、歴史・文化などに引き続き期待が集まっています。

(1)三島市が将来どのような都市になったらよいか

「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」、「自然や環境に優しい安らぎのある都市」が上位2項目となりましたが、経年では、下降傾向にあり、一方、3位の「歴史や文化を大切にした風格ある都市」は上昇傾向となっています。また、「災害に強く安全で安心して暮らせる都市」の4.6%増は、本年4月の熊本地震の影響と推測されます。

三島市がどのような町になったらよいか(1つ選択)

将来都市像		H28 (前年比)	H27 (順位)	H26 (順位)	H25 (順位)	H24 (順位)	H23 (H28比)
1位	保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市	31.3 (-2.6%)	33.9 (1位)	36.1 (1位)	33.8 (1位)	32.1 (1位)	①34.0 (+2.7%)
2位	自然や環境に優しいやすらぎのある都市	16.2 (-1.0%)	17.2 (2位)	15.6 (2位)	19.1 (2位)	17.7 (2位)	②18.6 (+2.4%)
3位	歴史や文化を大切にした風格のある都市	13.1 (+0.3%)	12.8 (3位)	11.2 (4位)	10.6 (4位)	12.6 (3位)	④9.70 (-3.4%)
4位	災害に強く安全で安心して暮らせる都市	12.8 (+4.6%)	8.20 (5位)	12.4 (3位)	11.4 (3位)	12.0 (4位)	③16.1 (+3.3%)
5位	活発な産業・経済活動の盛んな活力に満ちた都市 産業経済	6.90 (-2.1%)	9.00 (4位)	6.70 (5位)	6.80 (5位)	6.30 (7位)	⑤6.90 (0%)
6位	公園や道路、下水道などの生活基盤が整備された都市	6.80 (+0.8%)	6.00 (7位)	5.60 (7位)	5.60 (7位)	7.90 (5位)	⑥6.10 (-0.7%)
7位	観光客が多く、商業が活性化した人が集まるにぎわいのある都市	5.90 (-1.1%)	7.00 (6位)	6.40 (6位)	6.60 (6位)	7.40 (6位)	⑦5.90 (0%)

(2)将来の都市規模

「伊豆地域を代表する都市」が36.1%となり、平成19年度以降初めて「現状のまま」を逆転する結果となりました。2020年の東京オリンピック・パラリンピックを控え、今後、三島市が伊豆地域において中心的な役割を担う都市になることへの期待がうかがわれます。

将来の都市規模	28年度	(前年度)
伊豆地域を代表する都市、人口15～19万人程度	36.1%	(34.5%)
現状のまま、人口11万人程度	33.8%	(35.1%)
県東部の中核都市、人口30～40万人程度	14.3%	(14.6%)
人口20万人程度	9.1%	(8.6%)
人口70万人程度	4.4%	(4.5%)

特徴3 「せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり」や「美しい景観の保全・形成」の満足率が高くなっています。

(1)満足率上位5項目

市の施策についての市民の満足率（充実度）は、「せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり」が高くなっています。

(2)不満率上位5項目

例年上位の5項目は不動。ただし、「歩道」、「生活道路」、「にぎわい商業・商店街」では、歩道整備や街中の賑わいを反映し不満率が大幅に減少しています。一方、「バス等公共交通」は、全世代を通じて不満率が高く、「三島駅周辺整備」については、市民の関心の高さがうかがわれます。

▼項目別満足率(=「満足」+「やや満足」)

項目別満足率	分類	H28 (前年比)	H27 (順位)	H26 (順位)	H25 (順位)	H24 (順位)	H23 (H28比)
1位	せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり	69.4 (+8.5%)	60.9 (1位)	69.3 (1位)	64.6 (1位)		
2位	「広報みしま」による市政情報の提供	59.6 (+6.3%)	53.3 (2位)	58.6 (2位)	55.6 (2位)	61.3 (1位)	①58.1 (-1.5%)
3位	美しい景観(都市・自然・歴史)の保全・形成	53.7 (+10.0%)	43.7 (5位)	48 (4位)	47.7 (3位)	46.6 (4位)	④41.8 (-11.9%)
4位	公園・水辺空間の整備	49.2 (+5.0%)	44.2 (3位)	49.6 (3位)	47 (5位)	50.3 (2位)	③47 (-2.2%)
5位	健康診査、健康相談等の健康増進	45.3 (+2.3%)	43 (6位)	42.9 (6位)	41.2 (6位)	41.7 (5位)	⑤38.9 (-6.4%)

▼項目別不満率(=「不満」+「やや不満」)

項目別不満率	分類	H28 (前年比)	H27 (順位)	H26 (順位)	H25 (順位)	H24 (順位)	H23 (H28比)
1位	歩道の整備	38.4 (-3.8%)	42.2 (1位)	41.9 (1位)	44.7 (1位)	42.5 (1位)	②44.4 (+6%)
2位	バスなどの公共交通の充実	36.3 (+2.8%)	33.5 (3位)	35.7 (3位)	34.1 (5位)	33.6 (4位)	④36.6 (+0.3%)
3位	生活道路の整備	35.5 (-4.5%)	40 (2位)	37.4 (2位)	40.2 (2位)	38.6 (3位)	③39.8 (+4.3%)
4位	三島駅周辺(北口・南口)の整備	34.7 (+1.8%)	32.9 (4位)	33 (5位)	36.7 (4位)	32.5 (5位)	⑤36.3 (+1.65%)
5位	にぎわいのある商業・商店街づくり	27.1 (-3.3%)	30.4 (5位)	34.2 (4位)	39.8 (3位)	39.8 (2位)	①45 (17.9%)

特徴4 市民の幸福感は、年々向上しています。

『現在あなたは、どの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思われますか。』の問いに対し、平均点6.80は昨年度(6.79%)とほぼ同値となりました。

幸福感平均点	平成28年度	平成27年度	平成26年度
幸福感平均点	6.80	6.79	6.72

幸福感を判断する際の重視事項は、平成26年度から変化していません。

- ① 健康状況 ② 家族関係 ③ 家計の状況 ④ 精神的なゆとり ⑤ 自由な時間

幸福感を判断する際の重視事項(複数回答可)

項目	H28 (前年比)	H27	H26	H25	H24 (H28比)
1位 健康状況	62.8 (+1.8%)	61.0	60.7	60.4	60.2 (-2.6%)
2位 家族関係	55.9 (+1.9%)	54.0	58.6	57.0	59.8 (+3.9%)
3位 家計の状況	50.6 (+2.5%)	50.1	50.7	50.9	52.0 (+1.4%)
4位 精神的なゆとり	41.3 (+4.2%)	37.1	44.2	42.4	39.2 (-2.1%)
5位 自由な時間	35.6 (+1%)	34.6	29.7	29.5	26.3 (-9.3%)

平成28年度新規調査項目について

(1) 男女共同参画の機会の確保は

「男女が性別に関わりなく個性と能力を十分に発揮する機会が確保されているか」に対し、思う派(21.8%)=「思う(4.1%)」+「どちらかといえばそう思う(17.7%)」、思わない派(27.5%)=「どちらかといえばそう思わない(16.7%)」+「思わない(10.8%)」の結果となった。一方で、女性の「思わない」が男性を下回っています。

	項目	割合(%)	男性(%)	女性(%)
1位	どちらとも言えない	26.4	27.6	25.7
2位	わからない	22.5	17.6	25.7
3位	どちらかといえばそう思う	17.7	19.4	16.7
4位	どちらかといえばそう思わない	16.7	16.0	17.5
5位	思わない	10.8	12.7	9.3
6位	思う	4.1	4.9	3.8
7位	無回答	1.8	1.9	1.4

(2) 三島市の文化的環境の満足度は

満足派(51.1%)=「満足(6.7%)」+「どちらかと言えば満足(44.4%)」、不満派(16.1%)=「満足していない(5.1%)」+「どちらかと言えば満足していない(11.0%)」なっています。

(3) 楽寿園のイベントについて

◎イベントへの参加

「ほとんどしない(70.7%)」に対し、「年に数回(20.4%)」、「無料イベントのみ(6.2%)」、「月1回以上(1.1%)」。
なお、年代別では30代のイベント参加が最も多く35.9%となっています。

◎開催してほしいイベント

20代から50代は「飲食系イベント」、また、60代以上は「花の展示会」が開催してほしいイベントとして最も多い回答率となっています。

(4) 公共スポーツ施設について

満足派(22.3%)=「満足(5.9%)」+「やや満足(16.4%)」、中立派54.4%、不満派(18.5%)=「不満(6.3%)」+「やや不満(6.3%)」となりました。また、旧市内・北上地区の満足派は、錦田・中郷地区に比べ約6%上回り、不満派の割合も2~3%低くなっています。

(5) 障がいのある人について

◎理解が進んでいるか

進んでいる派(29.4%)=「非常に進んでいる(1.4%)」+「ある程度進んでいる(28.0%)」、進んでいない派(29.9%)=「あまり進んでいない(24.9%)」+「まったく進んでいない(5.0%)」のほぼ同率となりました。

◎障がいのある人、高齢者等に積極的に声をかけるか

「他がいない時は自分からかける(36.7%)」、「困っている人から声をかけられたら対応(29.8%)」、「積極的に自分からかける(24.2%)」となり、約90%の困っている人に声をかける回答をしています。特に何もしないは、全体の0.9%となりました。

三島市企画戦略部広報広聴課 市民生活相談センター

〒411-8666 静岡県三島市北田町4-47 担当：木村由美子

TEL. 055-983-2621 FAX. 055-983-2753 e-mail : soudan@city.mishima.shizuoka.jp

希望あふれる三島の未来の創造に向けて
女性と市長のみしまの未来を語る会の開催について
～市政の重要課題について女性の視点を市政に反映～

希望あふれる三島の未来の創造に向け、女性の視点をこれからの市政に反映するため、「女性と市長のみしまの未来を語る会」を開催します。

子育て支援やまちづくり、防災、福祉、ゴミ問題、働く場所の確保など、将来にわたって三島を発展させていくため、これからどうしていきたいか、市長と意見交換を行います。

当日は、市の施策の概要を説明した後、意見交換を行います。

ここがポイント!

- 女性の視点をこれからの市政に反映するため、年に1度開催する市長との意見交換会です。
(単なる苦情・要望ではなく、将来にわたって三島を発展させるための意見交換)
- 子育て中の女性も出席しやすいように、未就学児を対象に無料で託児を実施。

1 日時・場所

平成28年9月30日(金)午前10時～午前11時30分
三島市民生涯学習センター 3階 講義室

2 事業の内容

- ・市の施策について市長が説明
- ・事前にいただいた意見を元に意見交換
- ・当日は市長ほか事前質問に関連する部課長が当局として出席
- ・満1歳から未就学児の託児を無料で実施(多目的ホールで実施)

3 事前質問について

平成28年9月15日(木)までに電話・FAX・メール
郵便等で市民生活相談センターへ

4 これまでの経過

- ・平成23年度から女性と市長のいきいきトークから変更して実施(今回で6回目)
(平成27年度 9月4日(金)実施 出席者 33名)



【昨年の様子】

5 申込み

- ・電話、電子申請等で市民生活相談センターへ
- ・託児を希望する場合は、9月20日(火)までに申し込み

三島市企画戦略部広報広聴課 市民生活相談センター

〒411-8666 静岡県三島市北田町4-47 担当: 木村由美子

TEL. 055-983-2621 FAX. 055-983-2753 e-mail: soudan@city.mishima.shizuoka.jp



三島駅南口西側の土地をプロポーザルにより売却します
三島駅南口広域観光交流拠点整備事業の事業者募集について
～広域観光の推進とガーデンシティのまちづくり～

JR三島駅周辺は、静岡県東部地域の交通の結節点であり、伊豆半島はもとより富士・箱根への広域観光の核となってきましたが、近年のインバウンド需要の増大と2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、その重要性は益々大きなものとなっています。

このような中で三島市（以下「市」という。）では、市及び三島市土地開発公社（以下「公社」という。）が所有する三島駅南口西側の土地を売却することにより、民間事業によるホテルを核とした広域観光交流拠点整備を促し、もって、三島駅周辺グランドデザインに定める「広域観光の推進とガーデンシティのまちづくり」のための「にぎわいの創出」及び「交流人口の拡大」を図ろうとするものです。

ここがポイント！

- 「にぎわいの創出」及び「交流人口の拡大」を図るため、富士、箱根、伊豆などに訪れる観光客や、近年急増する海外からの外国人観光客（インバウンド）をターゲットに次の特徴を有したシティホテルを整備する事業者を公募します。
 - (1) 富士、箱根、伊豆などに訪れる広域観光の中心拠点機能（ハブ機能）
 - (2) 楽寿園や市街地のせせらぎと調和した、市の玄関口に相応しい良質な都市景観の創出
 - (3) 箱根西麓三島野菜等の地域資源を生かした飲食店及び周辺地域の特産品を販売する店舗の導入
 - (4) ホテルの敷地内に「ガーデンシティみしま」に相応しい「水の仕掛け」等の施設の導入
 - (5) 三島を始めとした富士、箱根、伊豆などの観光情報の提供
- 湧水の保全について
事業者が建設するホテルについては、三島駅前地区地下水等環境影響調査報告書（平成7年2月報告）及び三島駅南口西街区地質調査報告書（平成28年8月報告）を踏まえ、湧水の保全に配慮した施設計画及び建築（基礎）計画とすることを求めてまいります。

1 事業名称

三島駅南口広域観光交流拠点整備事業

2 公募等の日程

平成28年8月25日（木）	募集要項の公表
平成28年9月5日（月）	事業者への説明会開催
平成28年9月6日（火）～9日（金）	質疑書の受付
平成28年9月28日（水）	質疑への回答
平成28年11月11日（金）～18日（金）	応募書類の受付・締切
平成28年11月下旬～12月上旬	審査会による事業者ヒアリング
平成28年12月上旬～同月中旬	審査結果公表（最優秀提案者等選定）
平成28年12月下旬まで	最優秀提案者との協議及び調整
平成29年1月中旬	基本協定締結（事業者決定）

3 売却対象地

(1) 三島駅南口西側に所在する市及び公社の所有地

所在	地番	地目	面積 (㎡)		所有者等
三島市一番町	2606 番 2 のうち	雑種地	3,141	77	三島市土地開発公社
	2606 番 8 のうち	宅地	262	25	三島市
計			3,404	02	

- (2) 用途地域及び法令上の制限等 近隣商業地域 (準防火地域)
 (3) 建ぺい率/容積率 80%/200%

4 都市計画の変更について

(1) 用途地域の変更

近隣商業地域を商業地域にすることにより、容積率を 200% から 400%に変更します。

(2) 地区計画 (地区整備計画)

建築物等の用途の制限をそれぞれ次にとおり定める予定です。

ア 建築できるもの

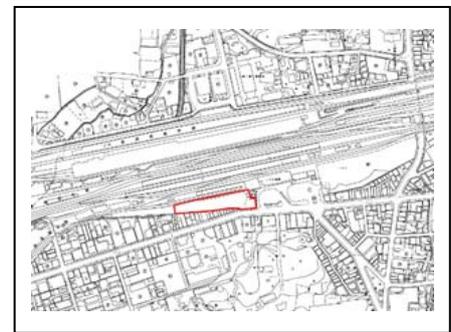
ホテル、店舗、飲食店、自動車駐車場及び自転車駐車場 (ただし、店舗及び飲食店については、ホテル建物内のものに限る。)

イ 建築できないもの

風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律に係る風俗営業等に供するもの

ウ 変更時期

平成 29 年 7 月末 (予定)



【対象物件の位置図】

5 最低売却価格

474,145,770 円

最低売却価格は、土地売却価格 (用途地域の変更を前提とした不動産鑑定による土地評価額) 及び地質調査費用の合計です。

6 応募者の資格要件

- (1) 応募者は、自ら売却対象地の土地を取得し、提案する施設を建設及び所有する者で、当該施設の継続した運営ができる十分な資金力及び経営能力並びに優れた企画力を有し、かつ、計画の実現について過去の経歴及び実績並びに社会的信用を有する法人又は複数の法人で構成されるグループであること。
 (2) 施設の運營業務を行う法人は、100 室以上のホテルの事業運営実績を有すること。

7 応募書類

- (1) 応募申込書、構成員調書
 (2) 資格・資力信用審査資料
 (3) 事業提案資料
 ア 事業計画書
 イ 施設計画書 (施設全体)
 ウ 物販、飲食等施設計画書
 エ 景観、地下水、周辺地域、環境及びユニバーサルデザイン等への配慮概要書
 オ 観光情報発信提案書
 (4) 価格提案書

8 審査方法

審査会は、応募者から提出された資格審査資料、事業提案資料及び価格提案書について「応募者資格要件・土地売買代金審査」と「資力信用・事業提案・価格提案審査」の2段階に分けて総合的に審査を行い、応募者のうち最優秀提案者、優秀提案者を市及び公社に報告し、市及び公社は、審査会の報告を踏まえ決定します。
なお、審査会は、非公開とします。

9 募集要項の公表について

募集要項については、8月25日（木）から市ホームページに掲載しています。

三島市財政経営部管財課 〒411-8666 静岡県三島市北田町4-47 担当：谷村 裕 TEL. 055-983-2623 FAX. 055-973-5722 e-mail : kanzai@city.mishima.shizuoka.jp

全国で3件 市町では唯一 国土交通省の採択

水素製造・利活用に係る実現可能性（FS）調査について

～水素社会における下水道資源利活用検討委員会への参加～

平成28年7月に三島市が国土交通省に申請した三島終末処理場（浄化センター）を対象とした再生可能エネルギーである下水汚泥からの水素製造・利用に係る実現可能性（FS）調査が、この度採択されました。

これにより、今年度三島終末処理場において、事業の採算性や環境性等を評価し、水素製造・利用の事業化の可能性を探る調査が、国土交通省の直轄事業として実施されます。

また、この調査の成果については、国土交通省により設置される「水素社会における下水道資源利活用検討委員会」における議論を踏まえ、導入に必要となる技術面・手続き面の情報と合わせて、本年度中にガイドライン等としてまとめられる予定です。

平成28年度は、三島市のほか宮城県及び奈良県の3団体が採択されました。

ここがポイント！

- 三島市では、平成28年度から下水汚泥からの再生可能エネルギー（水素製造・利用）の研究を、民間企業も参画し開始した。
- この度、国土交通省に申請した三島終末処理場（浄化センター）の下水汚泥からの水素製造・利用に係る実現可能性（FS）調査が採択を受けた。全国で3件、市町村では唯一 三島市が選ばれた。

1 背景

平成26年4月に閣議決定された第4次エネルギー基本計画では、「水素は、将来の二次エネルギーの中心的役割を担うことが期待される」とされ、調達方法の多様さや、高いエネルギー効率や環境負荷の低減への可能性により、「水素社会」の実現に向けた取組の加速が掲げられています。

下水汚泥は、再生可能エネルギーであり、安定的かつ多量に発生することから、下水汚泥を原料として製造される水素は、再生可能エネルギー由来の水素供給源の一つとして期待されています。

2 実現可能性（FS）調査の実施について

国土交通省において、下水処理場における水素利活用の普及促進を図るため、水素製造及び利用事業の実現可能性（FS）調査を実施します。

平成28年度は、三島市のほか宮城県及び奈良県で実現可能性（FS）調査が実施されます。

3 これまでの経過、補足情報

三島市では、平成27年度より市内に潜在するバイオマスエネルギー資源として活用することについて、その可能性を研究し事業化を支援することを目的に「三島市バイオマス資源活用研究会」を発足し、研究会を3回、講演会を1回開催してきました。

更に、平成28年度には、下水部会として、下水汚泥・し尿を原料とするバイオマスの活用を研究する「新エネルギー製造勉強会」を立ち上げ、民間企業とも連携する中、勉強会を1回開催しております。



【三島終末処理場】

三島市上下水道部下水道課（浄化センター） ☎411-0824 静岡県三島市長伏309 担当：下山和男
TEL. 055-977-4835 FAX. 055-977-4833 e-mail : jyouka@city.mishima.shizuoka.jp

三島市の水道事業について市民向け説明会を開催します。

三島市水道事業説明会の開催について

～私たちの生活に欠かせない「水道」について考えてみませんか？～

本市の水道事業は、節水機器の普及や人口減少少子高齢社会の進行等を要因とした水道需要の減少、高度成長期の人口増加に対応し建設してきた水道施設や老朽管路の耐震化や更新などへの対応の問題を抱えており、市長が水道料金の改定等について、三島市水道事業審議会に諮問し、平成28年7月13日（水）より同審議会を開催し、審議会委員の皆様にご審議いただいております。

生活に欠かせない最重要インフラである本市の水道事業の現状と課題を、水道を使用している市民や事業者の皆さんにも知っていただきたく、三島市水道事業説明会を市内4箇所で開催します。

ここがポイント！

- 平成26年度には、昭和56年度以来、33年ぶりに当年度純損失（赤字）を計上するなど非常に厳しい経営状況にある本市の水道事業の現状と課題について、市民の皆さんに知っていただく説明会を開催します。
- 現在、三島市の諮問機関である三島市水道事業審議会では、1982年から34年間改定していない水道料金を調査審議しているところです
- 今回の説明会を、私たちの生活に欠かせない水道の将来について、市民の皆さんからご意見を伺う機会としたいと考えております。

1 日程 以下表のとおり 開始時刻：午後7時から8時（各回共通）

とき	ところ
9月16日（金）	錦田公民館 2階 講堂
9月23日（金）	社会福祉会館 4階 大会議室 ※市営中央駐車場をご利用ください。
9月27日（火）	北上文化プラザ 1階 多目的ホール
9月30日（金）	中郷文化プラザ 2階 多目的ホール

2 内容

- ・水道事業の沿革・水源、使用水量・経営状況などについて、説明いたします。（各回同一内容）

3 申込

- ・事前申込は不要ですので、直接、会場にお越しください。



小田原市・箱根町・三島市で“箱根旧街道”をテーマに連携
箱根八里街道観光推進協議会 発足総会について
～全国・世界にPRできる街道を目指して～

小田原市・箱根町・三島市では、“箱根旧街道”をテーマにした観光推進を図るため、「箱根八里街道観光推進協議会」を発足することとなりました。

これは、“箱根旧街道”が世界にPRしていく価値のあるブランド力の高い観光資源であると考え、“箱根旧街道”をキーワードに、地域活性化を目的とした関係自治体の広域連携を進めるものです。

また、全国で道路が果たす重要な使命や、街道の歴史文化の磨き上げによる地域振興策を推進している全国街道交流会議に全面的にサポートしていただくとともに、国、神奈川県、静岡県等との連携により広域事業を推進していきます。

ここがポイント！

- 初めて「箱根八里」のブランド力に注目し、広域で発足される協議会。
- 2018年箱根宿開宿400年、2019年は箱根関所開設400年、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を契機とし、広域による観光客等の受入態勢整備の検討を進めます。
- ソフト面を重視し、集客することで生じる経済効果を狙っています。

1 総会 日時・場所

平成28年9月8日（木）午後1時30分～3時 三嶋大社社務所

2 協議会メンバー

- （市町）小田原市、箱根町、三島市
- （県）神奈川県、静岡県
- （団体）小田原箱根商工会議所、三島商工会議所

小田原市観光協会、箱根町観光協会、三島市観光協会
全国街道交流会議

（オブザーバー）国土交通省横浜国道事務所、国土交通省沼津河川国道事務所



【箱根旧街道の様子】

3 協議会の目的

箱根旧街道にゆかりのある宿場町・城下町等を有する地域が連携し、歴史、文化及び景観等の地域資源を活用した地域間交流と街道観光の推進に関する事業を行うことにより交流人口の拡大を図り、街道や街道文化の継承と沿線の活性化、産業の振興に寄与すること。

4 補足情報 等

- ・ 今後は景観整備などのハード事業、回遊性の向上やPR等のソフト事業を検討する予定です。
- ・ 箱根旧街道に関する3市町共通したパンフレットは、平成19年度の「箱根八里ウォークガイド」以来作成されていません。



市内幼稚園・保育園等で健康講座
子育て世代の健康づくり支援事業（体組成測定巡回）について
～スマートウエルネスみしま 子育て世代の健康づくり支援～

三島市では、健康を核としたまちづくり「スマートウエルネスみしま」を通じて、市民が健康でまちなも元気で活気あふれる“健幸”都市づくりを進めています。

その一環として、体組成測定を希望する幼稚園・保育園などで継続的に実施することで、子育て世代の健康づくりを図ります。また、各種健康づくりに関する教室・講座、タニタ関連事業の紹介を通じて、健康づくりをさらに継続的なものとしていくことで、子育てしやすい健康的な環境づくりに繋がっていきます。

ここがポイント！

- 幼稚園、保育園等を巡回することで、家事や育児、仕事などで忙しく、健康や生活習慣に対する意識が希薄な傾向にある子育て世代の健康づくりを図ります。
- 市保健師による乳がん検診啓発講座や栄養講座を併せて行うことで、子育て世代の健康に関する不安・悩み解消を目指します。
- 公募により審査選定した株式会社シンコースポーツに業務委託し、スポーツトレーニング指導者による専門的な健康づくり講座を受けることができます。

1 実施期間

平成28年9月～平成29年2月の期間に1～2回訪問予定

2 訪問先・1回目訪問日

- | | | | |
|-------------|----------|-----------|-----------|
| ① 沢地幼稚園 | 9月7日（水） | ② しらゆり幼稚園 | 9月6日（火） |
| ③ 北幼稚園 | 9月6日（火） | ④ 旭ヶ丘幼稚園 | 10月17日（月） |
| ⑤ 錦田幼稚園 | 9月9日（金） | ⑥ 加茂保育園 | 9月10日（土） |
| ⑦ 沢地小家庭教育学級 | 9月28日（水） | | |

※2回目以降の訪問日は未定

3 実施内容

- ・体組成測定及び結果の見方説明
- ・スポーツトレーニング指導者による運動等の健康づくり講座
- ・みしまタニタ健康くらぶ紹介
- ・アンケート調査
- ・市保健師による乳がん検診啓発講座及び栄養講座



まちを舞台に、今秋開催の104のプログラムが勢揃い
みしまの文化百花繚乱パンフレットの発行について
～WEBサイト・Facebookも公開～

「みしまの文化百花繚乱」とは、市制75周年の節目を祝い、9月から11月までの3か月にわたって三島のまち全体を舞台に見立てて開催する、登録参加型の市民文化フェスティバルです。

音楽、演劇、舞踊、絵画、工芸、健康、お祭りなど多彩なジャンルに、コンサートや展覧会、講演会やワークショップ、まち歩きなどと内容も様々なプログラムがエントリーされました。

昭和53年から毎年発行されている文化催事の案内リーフレット「三島の秋」を今年はスケールアップし、20ページのパンフレット「みしまの文化百花繚乱」を発行しました。WEBサイトやFacebookも公開します。

ここがポイント！

- 9～11月に市内各所で開催される104のプログラムを紹介するパンフレットを発行、好評配布中。
- 全プログラムを開催日順に紹介するほか、いまにつながる三島の文化の立役者4人にスポットを当てた特集「三島の文化を紡いだ人々」の記事も掲載。
- パンフレット・WEBサイトは、三島出身または在住のフリーランスで活躍する女性たちにより制作。

1 みしまの文化百花繚乱 開催概要

開催期間 平成28年9月1日(木)～11月30日(水)

場 所 三島市内各所

参加団体 56団体

2 事業の詳細等

- ・パンフレット(A4判20ページ・オールカラー)15,000部発行、市内公共施設等で配布中
 - 特集「三島の文化を紡いだ人々」…三島ゆかりの文化人4人を取り上げる
小出正吾(児童文学者)、五所平之助(映画監督)、佐野隆一(実業家)、大岡信(詩人・評論家)
 - プログラムカレンダー…9～11月に開催される104のプログラムを紹介
市が開催を支援する15のプログラムは主催団体の紹介も掲載
 - 市制75周年に寄せて 三島ゆかりの絵本作家3人からのメッセージ
宮西達也さん、スギヤマカナヨさん、江頭路子さん
- ・WEBサイト(<http://www.city.mishima.shizuoka.jp/100ka/>)公開
- ・参加団体が集うオープニングイベント「交流ワークショップ」開催
日時 9月1日(木)午後2時30分～4時30分
場所 三島商工会議所TMOホール

3 これまでの経過等

- ・平成27年11月市議会で豊岡市長が全市的な文化イベントの開催意向を表明
- ・平成28年4月15日～5月31日 登録プログラム募集
- ・6月 開催支援プログラム15件を決定
- ・7月 ふるさと納税制度を活用したガバメントクラウドファンディングにより寄附募集
- ・8月 パンフレット発行、WEB公開





スポーツみしまトップアスリート発掘・育成事業
みしまジュニアスポーツアカデミー 第2期生募集について
～三島から目指せ！世界の表彰台～

平成27年度からスタートした、みしまジュニアスポーツアカデミーは、「今から目指す世界の表彰台」をコンセプトに、将来、全国大会や国際舞台で活躍できる選手を発掘・育成する取り組みです。

みしまジュニアスポーツアカデミーでは、11月から約1年間のトレーニングプログラムを行う第2期生の募集を行います。第2期生は、10月に行う選考会で運動能力の高い20名程度を採用する予定です。

ここがポイント！

- 東京オリンピック・パラリンピック開催を契機とした、選手の発掘・育成の取り組みである。
- 運動能力の高い子どもたちを選考会で選抜し、部活動や学校では経験できない新たな競技を体験させる。
- 競技団体と連携して、それぞれの能力や適性にあった競技を見出し、育成を図っていく。

1 開講式までのスケジュール

9月 1日 (木)	募集開始 (市内各小中学校に申込書配布)
9月26日 (月)	募集締切
10月10日 (月・祝)	選考会開催 午後1時30分 三島市民体育館1階アリーナ
11月 1日 (火)	開講式 午後7時から 生涯学習センター講義室

2 事業の詳細 等

- ・対象者：市内在住、在学の小学6年生～中学2年生の男女
- ・申込方法：申込書（HPからダウンロード可）に必要事項を記入し、9月26日（月）までにみしまジュニアスポーツアカデミー事務局（411-0033 三島市文教町 2-10-57 スポーツ推進課内）へ持参または郵送
- ・選考会内容：新体力テストに準ずる
- ・合格者数：20名程度

3 第1期生のこれまでの経過

- ・平成27年度の選考会参加者数45名（うち合格者数25名）現在は、19名が在籍。
- ・平成27年11月～平成28年3月までコーディネーショントレーニングや大腰筋トレーニング、座学といった基礎トレーニングプログラムを実施。平成28年4月～11月まで全5種目（陸上、ホッケー、自転車、ボート、レスリング）の競技体験プログラムを実施中。
- ・陸上、ホッケー、自転車の競技体験が終了済み。今後は、ボート、レスリングの競技体験を実施予定。



【ホッケー体験の様子】

日本最大級の遺伝学会を三島市で開催
日本遺伝学会第88回大会【三島大会】公開市民講座の開催について
～生き物の多様性の謎を遺伝子から読み解く～

国内に唯一遺伝学に関する研究を行っている国立遺伝学研究所が所在する三島市で、生物進化学や自然科学の分野で最大級の学会「日本遺伝学会第88回大会」が、開催されます。

9/10（土）に、「生き物の多様性の謎を遺伝子から読み解く」というテーマで、一般市民向けに最先端の研究について5人の先生方による講演会が開催されます。

ここがポイント！

- 「日本遺伝学会」は、大正9年に前身の「日本育種学会」を受け継ぎ結成された長い歴史と伝統を誇る、現在会員数900人余りを数える日本最大級の学会で、当市での大会開催は今回で6回目です。
- 公開市民講座「生き物の多様性の謎を遺伝子から読み解く」では、第一線の遺伝学者による講演を行い、中学生、高校生、大学生、高校教員を含む一般市民に遺伝学の魅力と生物多様性の重要性を伝えることを目指しています。
- 三島市は「遺伝学研究所のある街—文教都市」として、（公財）遺伝学普及会と連携し、毎年、夏休み子ども遺伝学講座と市民向けの講演会「遺伝学講座・みしま」を開催し、好評を得ています。

1 日時・場所

平成28年9月10日（土）午後1時30分～午後4時（開場 午後1時）

日本大学国際関係学部 三島駅北口校舎 大教室（三島駅北口すぐ）※入場無料、事前申込不要

2 演題・講師

- ・『がらくたから宝が生まれる—ゲノム進化のふしぎ—』 斎藤 成也 国立遺伝学研究所・教授
- ・『環境と五感—五感の遺伝子の進化—』 颯田 葉子 総合研究大学院大学・教授
- ・『新しい種はどうやってできる？—トゲウオを例に—』 北野 潤 国立遺伝学研究所・教授
- ・『鳥はどれくらい恐竜か？—発生学から見た鳥類と恐竜類の関係—』 田村 宏治 東北大学大学院・教授
- ・『紅海の微生物遺伝子の千夜一夜物語』 五條堀 孝 アブドラ国王科学技術大学・教授

3 主催

日本遺伝学会

4 共催・後援

共催：三島市、国立遺伝学研究所

後援：三島市教育委員会

（公財）遺伝学普及会



【以前開催した遺伝学講座の様子】

三島市企画戦略部政策企画課 〒411-8666 静岡県三島市北田町4-47

TEL. 055-983-2616 FAX.055-973-5722 E-mail : seisaku@city.mishima.shizuoka.jp

敬老標語コンクール・敬老大会
敬老の日に関連する高齢者対象事業（2事業）の開催について
～敬老意識の向上・高齢者の生きがいづくりのために～

三島市では、市内に居住する高齢者の長寿を祝福し敬意を表するとともに、その生活を明るく豊かなものとするため、2つの高齢者対象事業を行います。

ここがポイント！

- 敬老標語コンクール：子どもたちがお年寄りを大切に思う気持ちを標語で表現。公共の場に掲載することで、地域住民の敬老意識向上につながる。
- 各地区敬老大会：高齢者が日々の練習成果を発表する場。地域高齢者が集まり楽しく協力することで、親密な地域コミュニティを醸成し、生きがい生まれる。

①敬老標語コンクール入選作品の展示

1 展示の期間・場所、表彰式

平成28年8月22日（月）～8月29日（月）三島市役所 本館玄関ロビー
平成28年9月1日（木）～9月30日（金）三島市老人福祉センター
※表彰式：8月27日（木）10：00～ 市役所本館3階第1会議室



【昨年の表彰式の様子】

2 事業内容

小中学生から応募のあった標語6, 666点のうち、入賞作品28点
(小学生の部14作品、中学生の部14作品)を展示

平成28年度最優秀作品：小学生の部 佐野小学校6年 大宮(おおみや) 雅貴(まさき)

「とうさんも この手でだっこ されたかな」

中学生の部 北中学校3年 川口(かわぐち) 嵐丸(らんまる)

「叱られて 気づく我が身 祖父の愛」

②各地区敬老大会

1 日時・場所 等

開催日：中郷地区（9月6日～8日）、錦田地区（9月13日～15日）、
東部地区（9月20日～21日）、中部地区（9月27日）
西部地区（9月28日）※各日10：00～ 中部地区のみ10：30～
場所：三島市老人福祉センター（三島市川原ヶ谷839-1）

※北上地区は各自治会で開催



【昨年の敬老大会の様子】

2 事業内容

各地区の自治会連合会が主催し、市内5地区で敬老大会を開催します。

内容：地域の高齢者を招待し、演芸、カラオケ、ゲーム、高齢者表彰などを行い、長寿を祝います。



平成28年度みしま教養セミナーについて ～順天堂大学関連コース 「健康を科学する」～

学習活動を通じて生きがいを持って社会に参加することを目的に「みしま教養セミナー」を開催しています。後期は順天堂大学保健看護学部から講師を招き、「健康を科学する」をテーマに多彩な学習機会を提供しておりますので、ぜひご参加ください。

ここがポイント!

- 順天堂大学の教授陣を招いての無料の講座です。
- 野外学習は、テーマに沿った施設や場所に行きますので、講座の内容を体全体で学ぶことができます。

1 日時・場所 等

- 【日時】平成28年度9月1日(木)～10月20日(木) 全5回 各回午後2時～4時
 【場所】三島市民生涯学習センター 3階講義室
 【対象】市内在住、在勤の30歳以上で、全日程に出席できる人(野外学習は希望者のみ)
 【定員】150人※応募多数時抽選
 【費用】無料(野外学習のみ実費)

2 事業の詳細 等

日 程	講座内容	講 師
9月1日(木)	統計データで知る地域の健康	酒井 太一さん (公衆衛生看護学 准教授)
9月8日(木)	「在宅で療養生活すること」の科学	美ノ谷 新子さん (在宅看護学 教授)
9月15日(木)	科学的根拠に基づいたがん予防	栗原 明美さん (成人看護学 准教授)
9月29日(木)	野外学習(希望者のみ)	
10月6日(木)	調度良い運動強度ってどれくらい?	辻川 比呂斗さん (一般教養 准教授)
10月20日(木)	市民ができる一次救命処置(シミュレーションを使って)	小川 薫さん (専門・基礎 教授)

3 これまでの経過、補足情報 等

前期は「みしま教養セミナー 日本大学関連コース」として日本大学国際関係学部の先生方による講座を開催しました。



【昨年の様子】

市内の全保育園が参加する一大イベント
第8回ほいくえんまつりの開催について
～未就学児と家族が対象の多彩な催し～

「ほいくえんまつり」は、現在子育て真っ最中の世代に、保育園の楽しさを伝え、保育園で行っている遊びについて知ってもらうためのお祭りです。また、市内の保育園、幼稚園に通っている親子はもちろん、これから入園を控える親子も対象としているため、各園の様子を知る良い機会ともなります。

ここがポイント！

- 市内全保育園（民間保育園11園、公立保育園7園、幼保連携型認定こども園1園）が様々な企画した遊びを体験できます。
- 園長先生による育児相談を同時に行っています。
- 未就学児同伴のご家族は楽寿園入園料が無料になります。（当日9：00～11：30）
- みしまるくんみしまるこちゃんも遊びに来ます。

1 日時・場所

日時：平成28年9月3日（土） 午前9時45分～12時（雨天中止）
場所：三島市公園 楽寿園 ふれあい広場

2 事業概要

未就学児とその家族及び保育士との交流を図るため、ほいくえんまつりを実施します。

内容 バルーンアート・木のおもちゃ遊び・パッチン的当て・アームレスリング
ウォーリーをさがせ・野点・バスケットシュート・アクセサリ作り・工作
魚釣りゲーム・ヨーヨー釣り・昔遊びなど

対象 未就学児とその家族

費用 参加費無料

3 補足情報

- ・11時30分までに入場の未就学児同伴のご家族は入園無料
- ・主催 三島市民間保育園園長会（共催 三島市）



【昨年開催時の様子】

伊豆の絶品お肉が大集合！多彩なビールも勢揃い！
「肉とビールの祭典」について
～大人も童心にかえって肉とビールをガハハと楽しもう！～

楽寿園では、各種団体がイベントを開催する際、企画運営に協力をしています。
市内の飲食店 株式会社 風土が主催し、近隣の飲食店と一緒にイベントを計画しました。

ここがポイント！

- 初開催イベント
- 肉・ビール・ハンドメイド・フォークダンスを、大人が童心にかえって楽しむイベント
- 筋肉同好会による「筋肉ショー」「アームレスリング」「お姫様抱っこ」イベント

1 日時・場所 等

- 【日時】 9月4日（日）10：00～16：00 小雨決行（荒天中止）
【場所】 楽寿園内 ステージ前
【入園料】 大人300円・中学生以下は無料

2 イベントの詳細

肉 伊豆の美味しいお肉が盛りだくさん
三島市近隣の飲食店のこだわりの肉料理 計16店舗

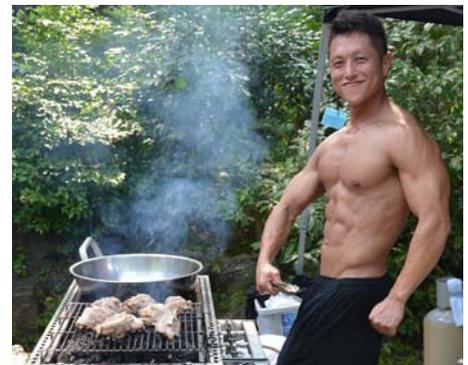
ビール 大手メーカーから地元のクラフトビール
少量カップでビールの飲み比べ 計6店舗
こどもビール・ノンアルコールビールもあります

クラフト フェイスペイント・アクセサリ・ハンドメイド品・雑貨等の販売 計8店舗

イベント
10：00～11：00 プロカメラマンによる撮影会
11：00～12：00 アームレスリング
13：00～ 筋肉ショー&撮影会
15：00～ フォークダンス

3 主催者等

- 《主催》 株式会社 風土
四季酒菜 風土 本店 055-973-6551
《協力》 楽寿園 055-975-2570



【イメージ】

外飲みって気持ちいい

「楽寿園オクトーバーフェスト」について

～伊豆クラフトビールフェス 気ままな休日を過ごそう！～

楽寿園では、各種団体がイベントを開催する際、企画運営に協力をしています。
市内の飲食店とビール会社が実行委員会を組織し、イベントを計画しました。

ここがポイント！

- 初開催イベント
- 伊豆の自慢のクラフトビール6店舗が揃い、お気に入りのビールを見つけることができます。
- 楽寿園内に生演奏が響き、大人の気ままな時間を過ごすことができます。

1 日時・場所 等

- 【日時】 9月18日(日) 10:00～17:00 小雨決行(荒天中止)
【場所】 楽寿園 お休み処「桜」ピクニック 周辺
【入園料】 大人300円・中学生以下は無料

2 イベントの詳細

- クラフトビール 伊豆の自慢のクラフトビールが揃います！
ウサミビール(伊東市)・伊豆の国ビール(伊豆の国市)
伊豆高原ビール(伊東市)・ベアードビール(伊豆市)
サムライサーファービール(沼津市)・伊豆エール(函南町) 計6店舗
- FOODS ビールに合う伊豆の旨いものが揃います！
みしまコロッケ・生ハム・サラミ・ウインナー・若鳥スパイス焼き 計11店舗
- MUSIC ジャズ・アイリッシュ・ハワイアンの生演奏で会場を盛り上げます！
(出演) JAZZ Ricky Trio
Irish GIGGLEGIG(ギグルギグ)
Hawaiian ハワイアーナ・レアレア

3 主催者等

- 《主催》 いざオクトーバーフェスト実行委員会
楽寿園内売店ピクニック
080-1563-7265
- 《協力》 楽寿園
055-975-2570



【イメージ】



みしまタニタ健康くらぶ発足1周年記念
平成28年度健康づくり講演会の開催について
～講師はタニタ食堂でおなじみの管理栄養士～

三島市では、市民が健康でまちなも元気で活気あふれる健幸都市づくりを進めるため、昨年1月に株式会社タニタと「食と運動による健康まちづくりに関する協定」を締結しました。

その一環として昨年7月に発足した健康づくり事業「みしまタニタ健康くらぶ」が1周年を迎えたことを記念して、三島市が毎年行っている健康づくり講演会に株式会社タニタの管理栄養士を講師としてお迎えして、タニタ式の健康づくりのポイントについて講演をいただきます。

ここがポイント！

- 講師は昨年に引き続き、龍口知子先生をお迎えし、昨年よりレベルアップしたテーマを依頼。
- 講師は管理栄養士だけではなく健康運動指導士の資格も持っています。
- 今年度初の株式会社タニタの講師による大規模講演会です。
- 三島市保健委員の研修としても位置付け、約200名の保健委員も参加予定。

1 日時・場所

日時 平成28年9月9日（金） 午後1時30分～3時（開場午後1時）
場所 三島市民文化会館 大ホール
演題 「タニタ管理栄養士から学ぶ！アンチエイジングのための栄養と運動」
講師 株式会社タニタ 管理栄養士 龍口 知子さん

2 事業の詳細

- ・ 入場無料、申し込み不要でどなたでも参加できます。
- ・ 要約筆記、手話通訳もあります。
- ・ 駐車場はありませんので、近隣の有料駐車場または公共交通機関をご利用ください。
- ・ 当日の午前中は、三島市保健委員会の会議を市民文化会館内で行っており、保健委員は引き続き講演会に出席予定です。
- ・ 当日は市長の挨拶も予定されています。

3 これまでの経過、補足情報

- ・ 昨年は9月15日に開催し、約600名が参加。
- ・ 「みしまタニタ健康くらぶ」の会員数は本年6月末現在で、905人となっています。



昨年の様子

みしまの文化百花繚乱

第48回三島市民合唱祭の開催について

三島市民合唱祭は、三島市内及び近隣市町で活動している多数の合唱団が出演する市内最大の合唱の祭典です。日ごろの練習成果の発表を通じて合唱団が互いに学びあい、団体間の交流を深めることにより、地域の音楽文化の振興に寄与することを目的に、昭和44年から開催されています。男声、女声、混声、児童の多彩なジャンルの曲が披露され、市民の音楽鑑賞の機会としても親しまれています。

今年度は市制75周年を記念して、41の合唱団体と、三島市立山田中学校の生徒の皆さんが歌声を披露してくれます。

ここがポイント！

- 市制75周年を記念して、今年度は特別に三島市立山田中学校の生徒が参加します。
- 近年で最多となる42の合唱団体が出演し、「みしまの文化百花繚乱」の登録プログラムとして開催されます。
- 合唱曲「いのちひからせて」を、本合唱祭恒例の出演者及び来場者による全員合唱で歌います。

1 開催概要

- (1) 日時 平成28年9月11日(日) 開場 9:45
10:15～17:30(予定)
- (2) 会場 三島市民文化会館 大ホール
- (3) 主催 三島市合唱協議会(会長:月野 義識)
三島市教育委員会
- (4) 内容

- ・42の合唱団体の発表(持ち時間:1団体8分)
- ・第1部と第2部の休憩時間に、全員合唱を行う。
指揮:縣 政四 先生、曲目:いのちひからせて(作詞・作曲:林 学)
- ・全合唱団の発表終了後、講師から発表曲の一つ一つに講評をいただき、今後の練習の指針とするとともに、技術向上への取り組みの意欲を培う。
講師:大貫 浩史(おおぬき ひろし)氏
- ・入場料 無料(全席自由)



第47回三島市民合唱祭

2 開催実績

	開催日	出演団体数	出演者数	来場者数
第44回	平成24年9月9日(日)	42団体	886人	1,340人
第45回	平成25年9月8日(日)	38団体	891人	1,230人
第46回	平成26年9月7日(日)	41団体	870人	1,250人
第47回	平成27年9月6日(日)	41団体	843人	1,280人



SMART
WELLNESS
MISHIMA

スマートウェルネスみしま

三島市地域けんこうたい・学生・行政の連携事業
自殺予防週間街頭キャンペーンの実施について
～こころの健康に関する知識の普及啓発～

全国の自殺者数は平成10年以降、3万人前後の高い水準で推移しています。県内においては、過去10年に年間700～800人ほど、三島市においては20～30人ほどの方が亡くなっています。（厚生労働省人口動態統計による。平成26年は静岡県674人、三島市で23人。）

自殺予防を推進するためには、自殺についての誤解や偏見をなくし、正しい知識を普及・啓発することが重要です。そのため、9月10日の世界自殺予防デーにちなみ、9月10日から16日が自殺予防週間に設定されており、様々な活動が推進されています。

三島市では、年齢・性別で見たときに特に自殺者数が多いとされている中高年男性や若年層に重点をおき、こころの健康および自殺の大きな原因となっているうつについての理解や、相談機関についての普及・啓発を目的とした街頭キャンペーンを通勤・通学時間帯に実施します。

ここがポイント！

- 三島市保健委員OBを主体としたボランティアグループ「三島市地域けんこうたい」の会員や順天堂大学保健看護学部の学生と、行政が共同で行う、年に1回のキャンペーンです。
- 通勤・通学の時間帯に合わせて三島駅で行うことにより、働き盛りの年代や若年層に直接アプローチができます。
- みしまるくん・みしまるこちゃんや、ちゃっぴーと一緒に幅広い年代層に向けてPRします。

1 日時および場所

平成28年9月12日（月）7：30～8：30 ※配布が終わり次第終了
三島駅南口駅前広場

2 事業の詳細 等

- ・三島駅利用者に対し、自殺予防について普及・啓発するためのパンフレット・グッズを配布します。
※グッズは、精神障がい者を対象とする就労継続支援事業所で製作されたものを使用
- ・参加者：「三島市地域けんこうたい」会員
順天堂大学保健看護学部学生
静岡県東部健康福祉センター福祉課
三島市健康づくり課職員
みしまるくんみしまるこちゃん（三島市のマスコットキャラクター）
ちゃっぴー（静岡県のマスコットキャラクター）

3 これまでの実績

- ・平成24年9月13日（木）三島駅南口 500人
- ・平成25年9月13日（金）三島駅南口 2000人
- ・平成26年9月12日（金）三島駅南口 1500人
- ・平成27年9月11日（金）三島駅北口 1000人



【昨年の様子】



SMART
WELLNESS
MISHIMA

スマートウェルネスみしま

三島市地域けんこうたい・学生・行政の連携事業
自殺予防週間街頭キャンペーンの実施について
～こころの健康に関する知識の普及啓発～

全国の自殺者数は平成10年以降、3万人前後の高い水準で推移しています。県内においては、過去10年に年間700～800人ほど、三島市においては20～30人ほどの方が亡くなっています。(厚生労働省人口動態統計による。平成26年は静岡県674人、三島市で23人。)

自殺予防を推進するためには、自殺についての誤解や偏見をなくし、正しい知識を普及・啓発することが重要です。そのため、9月10日の世界自殺予防デーにちなみ、9月10日から16日が自殺予防週間に設定されており、様々な活動が推進されています。

三島市では、年齢・性別で見たときに特に自殺者数が多いとされている中高年男性や若年層に重点をおき、こころの健康および自殺の大きな原因となっているうつについての理解や、相談機関についての普及・啓発を目的とした街頭キャンペーンを通勤・通学時間帯に実施します。

ここがポイント!

- 三島市保健委員OBを主体としたボランティアグループ「三島市地域けんこうたい」の会員や順天堂大学保健看護学部の学生と、行政が共同で行う、年に1回のキャンペーンです。
- 通勤・通学の時間帯に合わせて三島駅で行うことにより、働き盛りの年代や若年層に直接アプローチができます。
- みしまるくん・みしまるこちゃんや、ちゃっぴーと一緒に幅広い年代層に向けてPRします。

1 日時および場所

平成28年9月12日(月) 7:30～8:30 ※配布が終わり次第終了
三島駅南口駅前広場

2 事業の詳細 等

- ・三島駅利用者に対し、自殺予防について普及・啓発するためのパンフレット・グッズを配布します。
※グッズは、精神障がい者を対象とする就労継続支援事業所で製作されたものを使用
- ・参加者: 「三島市地域けんこうたい」会員
順天堂大学保健看護学部学生
静岡県東部健康福祉センター福祉課
三島市健康づくり課職員
みしまるくんみしまるこちゃん(三島市のマスコットキャラクター)
ちゃっぴー(静岡県のマスコットキャラクター)

3 これまでの実績

- ・平成24年9月13日(木) 三島駅南口 500人
- ・平成25年9月13日(金) 三島駅南口 2000人
- ・平成26年9月12日(金) 三島駅南口 1500人
- ・平成27年9月11日(金) 三島駅北口 1000人



【昨年の様子】

全国一斉

秋の全国交通安全運動の実施について

～9月21日（水）～9月30日（金）～

9月21日（水）～30日（金）の10日間、秋の全国交通安全運動が展開されます。

三島市では、9月21日（水）午前7時30分から三島警察署、交通安全関係団体、市議会議員、市職員が協働で通勤・通学する自動車・自転車等に対し、市役所前をはじめとした市内各所で統一主要行事である「初日一斉街頭広報」を実施します。

このほか、9月30日（金）午前7時30分から、「交通事故死ゼロを目指す日」の周知を図るため三島警察署、交通安全指導員、交通指導員会の協力のもと街頭広報を行います。

ここがポイント！

- 「初日一斉街頭広報」には三島警察署副署長ほか約200名参加予定。
- 市長、副署長、交通安全団体が直接ドライバーに啓発品を配り、交通安全の呼びかけを実施。
- 全国一斉に行う「交通事故死ゼロを目指す日」に合わせ、30日（金）には函南町と合同で看板等により国道136号線を通行する車両への周知を図る。

1 期間

平成28年9月21日（水）～9月30日（金）までの10日間

2 スローガン

「安全を つなげて広げて 事故ゼロへ」

3 運動の基本と重点項目

運動の基本：子供と高齢者の交通事故防止

重点項目：

○夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止

（特に、反射材用品等の着用の推進及び自転車前照灯の点灯の徹底）

○後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

○飲酒運転の根絶

○交差点の交通事故防止



【街頭啓発の様子】

4 行事関係

別添の実施計画書を参照して下さい

小学生・中学生の環境衛生に対する力作が一堂に
環境衛生週間ポスター・標語展 優秀作品の展示及び表彰式の開催について
～「みんなで育て未来へつなぐ環境先進都市・三島」を目指して～

三島市では、若い世代の環境衛生に対する意識の向上を図るため、環境衛生週間に合わせて、市内の小学4年生から中学3年生までを対象に、環境衛生に関する啓発ポスター及び標語の作品を募集しています。応募のあった作品のうち優秀な作品については、「環境衛生週間ポスター・標語展」として作品の展示及び表彰式を開催します。

ここがポイント！

- 本事業は昭和58年度から実施しており、本年度で第34回になります。
- 環境衛生週間とは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の施行日である9月24日（清掃の日）から浄化槽法の施行日である10月1日（浄化槽の日）までの1週間（8日間）を言います。
- 標語の特選作品についてはのぼり旗を作成し、各種環境衛生イベントで掲示・活用します。

1 優秀作品（特選及び入選作品）の展示

平成28年9月24日（土）～9月30日（金）【日曜日を除く】
月～金：午前8時30分～午後5時15分【9月29日（木）は午後8時まで】
土：午前8時30分～午前12時
三島市役所本館 玄関ロビー

2 優秀作品（特選及び入選作品）の表彰式

平成28年9月29日（木） 午後6時30分～
三島市役所本館3階 第1会議室

3 表彰数（予定）

- ・ポスターの部（小学生・中学生各18点、計36点）
特選6点（市長賞2点、市議会議長賞2点、教育長賞2点）、
入選10点、佳作20点
- ・標語の部（小学生・中学生各18点、計36点）
特選6点（市長賞2点、市議会議長賞2点、教育長賞2点）、
入選10点、佳作20点

4 過去の応募状況

- ・平成23年度 ポスター534点、標語2,015点、計2,549点
- ・平成24年度 ポスター483点、標語1,656点、計2,139点
- ・平成25年度 ポスター447点、標語1,735点、計2,182点
- ・平成26年度 ポスター328点、標語1,306点、計1,634点
- ・平成27年度 ポスター391点、標語1,140点、計1,531点



【昨年度の作品展示】



【昨年度の表彰式】

※現在は作品募集中であるため、受賞作品決定後に改めて詳細をお知らせいたします。

三島市環境市民部廃棄物対策課 〒411-0000 静岡県三島市字賀茂之洞 4703-94 担当：橋本泰浩
TEL. 055-971-8993 FAX. 055-971-8994 e-mail : haitai@city.mishima.shizuoka.jp



自分で楽しむ「見るガーデニング」から誰かと楽しむ「魅せるガーデニング」へ。

オープンガーデン講習会の開催について ～ガーデンシティみしま～

この講習会は、多くの皆さんと一緒にガーデニングを楽しんでいただくための基礎講座です。玄関先の小さなスペースなどで、鉢植えやハンギングバスケットなどを使って気軽に自分のお庭を作ってみませんか？

ここがポイント！

- 玄関先を花で飾ることで美しいまちづくりにつながる。
- 2回目の現地指導では参加者のお宅を実際に花で飾り、配置や見せ方をアドバイス。
- 土作りや寄せ植えの作り方など園芸の基礎も学ぶことができる。

1 日時・場所 等

- (1) 9月30日(金) 午前10時から 座学(北上文化プラザ第2研修室)
- (2) 10月28日(金) 午前10時から 現地指導(参加者の中からモデルケース宅を選出予定)
- (3) 12月15日(木) 午前10時から 座学(北上文化プラザ第2研修室)

2 事業の詳細 等

講師 ふじのくに花の都しずおかアドバイザー 岡部 俊彦 氏

対象 どなたでも

※全3回の講習会にすべて参加できる方を対象としています。

参加費 無料

申込み 8月31日(水)までに水と緑の課に電話でお申込みください。

TEL: 055-983-2642

3 これまでの経過、補足情報 等

- ・本講習会は平成25年度から始まり今年で4回目となります。
- ・受講生は、事前に自宅の庭の写真を送付することで3回目の講義の際講師から庭造りのアドバイスをいただけます。
(希望者のみ)



【昨年の現地指導の様子】

三島市都市整備部水と緑の課 〒411-8666 静岡県三島市北田町4-47 担当: 柿島美奈子
TEL. 055-983-2642 FAX. 055-973-9741 e-mail: mizutomidori@city.mishima.shizuoka.jp